

JIS

鉄鉱石—バナジウム定量方法

JIS M 8225 : 1997

(2008 確認)

平成 9 年 8 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによってJIS M 8225-1983は改正され、この規格によって置き換えられる。

今回の改正では、国際規格との整合化を図るため、ISO規格を元にし、附属書1、附属書2及び附属書3として規定している。

JIS M 8225には、次に示す附属書がある。

附属書1(規定) *N*-BPHA抽出吸光光度法

附属書2(規定) 原子吸光法

附属書3(規定) りんバナドタングステン酸抽出分離原子吸光法

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 28. 3. 28 改正：平成 9. 8. 20

官 報 公 示：平成 9. 8. 20

原案作成協力者：社団法人 日本鉄鋼連盟

審 議 部 会：日本工業標準調査会 鉄鋼部会（部会長 木原 諄二）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料規格課（〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

鉄鉱石—バナジウム定量方法

M 8225 : 1997

Iron ores—Methods for determination of vanadium content

序文 この規格の、**附属書1**は1991年に発行されたISO 9683, Iron ores—Determination of vanadium content—BPHA spectrophotometric methodを元にし、また、**附属書2**及び**附属書3**は、1991年に発行されたISO 9684, Iron ores—Determination of vanadium content—Flame atomic absorption spectrometric methodsを元にし、規定を作成した日本工業規格である。

1. **適用範囲** この規格は、鉄鉱石中のバナジウム定量方法について規定する。
2. **引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。この引用規格は、その最新版を適用する。

JIS M 8202 鉄鉱石—分析方法通則

3. **一般事項** 定量方法に共通な一般事項は、JIS M 8202の規定による。
4. **定量方法の区分** バナジウムの定量方法は、次のいずれかによる。
- a) **N-BPHA抽出吸光光度法** この方法は、バナジウム含有率0.05 % (m/m) 以上1.0 % (m/m) 以下の試料に適用するもので、**附属書1**による。ただし、チタンを0.5 % (m/m) 以上含む試料には適用できない。
- b) **原子吸光法** この方法は、バナジウム含有率0.05 % (m/m) 以上0.5 % (m/m) 以下の試料に適用するもので、**附属書2**による。
- c) **りんバナドタングステン酸抽出分離原子吸光法** この方法は、バナジウム含有率0.001 % (m/m) 以上0.05 % (m/m) 以下の試料に適用するもので、**附属書3**による。